

御幸まち協だよりミニ版(No.4)

平成 29 年 4 月 1 日

御幸地区まちづくり協議会

(略記：御幸まち協)

4月です。早いもので御幸まち協が発足してもうすぐ1年、少しずつですが新しい課題解決に向けて取り組んでいます。直近に開かれた第4回検討委員会の要旨を以下のとおりご報告いたします。



1、 第4回検討委員会報告

① 御幸地区まちづくり計画の策定について

・地域まちづくり支援室の担当者より、「平成30年度の総会に合わせて10年先を見据えた御幸地区まちづくり計画を策定してほしい、そのために、外部アドバイザーの力を借りることも1案である」旨の要請があった。

・これに対する検討委員会委員の意見

意見1・・・御幸の人口減に伴い自治会の再編成（見直し）が必要である。

意見2・・・まちづくり計画策定にあたって人口動態の見通しが必要である。市役所からこれらの資料を入手してほしい。

意見3・・・次期市長により駅前再開発の動向が大きく変わってくる。10年先というより3年5年先の近年の見通しをすることも難しい。（選挙前の検討内容）

意見4・・・まちづくり計画策定に外部アドバイザーに頼ることは避けたい。あくまで、自分たちの手で策定しなければ実施段階で崩れてしまう可能性がある。

＜現在、御幸まち協では皆様をお願いした「住民アンケート」を集計してまとめる作業を行っています。近々にアンケート結果をご報告させていただきます。＞

②各部からの活動報告

1) レクリエーション体育部・・・平成28年度の活動計画は実施済み。

2) 教育文化部・・・平成28年度の活動計画は実施済み。

3) 福祉環境部・・・平成28年度の活動計画は実施済み。

4) 広報情報部・・・まち協だよりミニ版(No.3)を1月1日付けでカラー印刷にて発行。

次回は今年度最終版として4月1日付けで発行予定。

5) 自治会(御幸支部)・・・環境パトロール実施(1月16日～1月30日)

6) 育成会・・・来期よりミニ運動会に参加したい。

7) 民生委員・・・自治会未加入の方の情報が入りにくい。見守りが必要である。今後は自治会を中心にみんなで高齢者や子どもを見守っていくことが大切である。

8) 全般的な意見

・催しの参加者が限られている。その原因として年代が繋がっていない。以前は祭りの実施により年代を通した繋がりがあった。来期は人が多く集まる催しを考える必要がある。布気地区出身の方より布気の事例が紹介された。

・御幸コミュニティセンターの草刈り作業は現在特定の方が草刈り機を用いて実施していただいている。いつも特定の方に依頼することには問題があることやけが等の恐れがある。そのため、作業をシルバー人材センターに依頼してはどうか。

・中学校との会議で「自転車の乗り方」の問題が話題になった。小学生も含め見守り活動が必要である。また、学校との連携も必要。

・住民アンケートの実施に当たり、その内容についての了解を得た。

9) 御幸まち協役員会からの報告

- ・地域まちづくり協議会連絡会議への出席報告（小林会長）
- ・指定管理者研修への出席 2月20日 出席者 小林会長、小林研二、後藤
- ・地域人材フォローアップへの参加 3月27日 参加者 小林研二、尾崎末廣

2、 自主防災会から

震度7の恐怖＝お汁粉でホッ!

御幸地区防災会会長 川原林 秀樹

去る2月25日、三重県の地震体験車「まなぶくん」で大きな揺れを体験していただきました。

平成19年にこの地を襲った震度5弱・強の地震で町全体が恐怖に包まれ、その日夕方にも大きな余震があり、不安な一夜を過ごした記憶が今も鮮明に残っています。

この日は、それ以上の震度7の揺れを実際に体験すると、想像を遥かに超えた揺れで、身動き一つできないことに改めて驚かされました。皆一応に青ざめた表情で車から降りてきて、暫く無言の境地に入っていました。そんな中、用意していた「お汁粉」が冷えた体を温め、まったりした甘みにホッとした笑みがこぼれていました。

一方、小さな子どもたちも同様に体験してもらいましたが、「もう一度乗りたい!」と、さながら遊園地の遊具で遊ぶかのように無邪気さがとても印象的でした。こんな子どもたちや大切なご家族の命を地震から守るためには今、何をすべきか。また、どのような心構えでいたらよいか考えさせられる一日でもありました。

まずは、家具等をしっかり固定すること。そして、昭和56年以前の建築住宅は耐震基準が低いため倒壊の恐れが極めて高いとのことで、住宅耐震診断を受けて、できれば早い時期に耐震補強工事をする事の重要性を市の危機管理局の担当者から講義も受けました。この耐震診断は無料で、補強にかかる設計費用や補強工事費については補助金が受けられるとのことです。一度市へご相談いただくと良いかと思えます。

東海・東南海・南海地震がいつ起きても不思議ではない昨今、防災の基本である自助「自分の身は自分で守る」について、今一度考える機会になったかと思えます。来期はもっとたくさんの方に体験いただき、防災・減災について真剣に考える機会を作っていただければと切に願っています。

<自主防災会からのお知らせ>

3月25日（土）御幸地区自主防災会解散総会を開き、今後は自主防災会は御幸まち協の1部門として活動していく予定です。

3、 御幸まち協の今後の予定

- 4月 8日（土）第1回役員会（議案書内容検討）
- 4月15日（土）第1回役員会（議案書作成）
- 4月22日（土）平成29年度通常総会



地震体験車「まなぶくん」と体験の様子

◎お知らせ

ホームページが「御幸地区コミュニティセンター」から「御幸地区まちづくり協議会」に変わりました。

・ ・ スマホでもご覧いただけます。 ・ ・